

森井之迫のキササゲ（未指定）

所在地：庄原市東城町森

指定年月日：未指定

所有者：藤原 博光

根回り周囲：2.04m

胸高 幹囲：1.96m

樹 高：約 15m

キササゲは、中国原産の落葉高木で、高さ 10m を超える高さに成長する。古くから薬用植物として日本各地に栽培され、野生化したものが生育している。花は美しく、薄い黄色の地に赤紫色の斑紋がある。直径は 2cm ほどで 6 月から 7 月に開花する。花が終わると急速に果実が生長し、長さ 30cm ほどのひも状になる。これをササゲに例え、木のササゲと名付けられた。日本では未熟な果実をとり、乾燥したものを利尿薬として使用している。

本樹も薬用植物として植栽されたものが、今日まで守られてきたと思われる。

